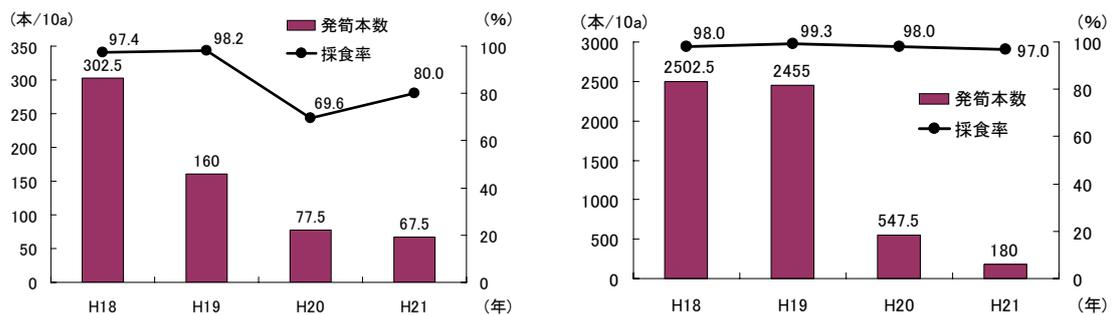


牛の放牧で竹林の拡大が防止できます

手入れ不足で荒れた竹林の繁殖力旺盛なモウソウチクが、周囲の森林や畑に広がり、里山の荒廃を一層深刻化させています。竹林の拡大を防止するには、竹を皆伐し、その後再生するタケノコをこまめに伐採しなければなりません。そこで、皆伐した竹林に牛を放牧し、採食行動や竹の再生状況を調査したところ、牛はタケノコを好んで食べ、放牧を継続することでタケノコの発生本数が年々減少し、竹林の拡大が防止できることがわかりました。今後、竹林周辺の耕作放棄地なども含めて放牧するなど、里山の保全に牛放牧を推進していきます。



皆伐していない竹林でタケノコを好んで採食する牛（黒毛和種）



タケノコの発筍本数と牛の採食率

(左側：直立型（通常タイプ）、右側：倒伏型（矮小タイプ）)